

鶴政宗（鶴正酒造）

1891年に谷酒造本店として創業した鶴正酒造は、その伝統と主力製品である「鶴正宗」に誇りを持つ。1989年より、伏見銘酒協同組合の一員として、同社は蔵元と職人が誇る最高の製造技術で成功をおさめている。

1966年、鶴正酒造は、酵母生産の新しい方法を発見し、日本生物工学会から製品技術で名誉のある江田賞を受賞した。

鶴正酒造は、伝統的な技術を守り続けることに力を入れている。鶴正宗は、毎年恒例の全国新酒鑑評会でも金賞を受賞し、特級酒「京都五山の四季」は、滑らかなで洗練されたフルーティーな味わいで定評がある。鶴正の純米大吟醸、「古都の雫」は、高品質ながら低価格で手に入るため、評価が高い。